

シャクヤクの育て方

シャクヤクには2系統があり、中国から渡来し、江戸時代に改良されたものを和シャクヤクと呼び、欧米で大輪や八重に改良された系統を洋シャクヤクと呼びます。

植え替えと株分け（図1，2）

9月中旬～10月中旬頃が適期です。植えつけ後3～4年たった大株の株分けもこの時期に行います。葉が枯れてきたら地上部を5cmくらい残して切り、根を傷つけないように大きく掘り上げ、傷ついた根や、コブのある根を取り除きます。

植えつけ場所は、日当たりが良く、乾燥しない肥沃地が適しています。

施肥

2月下旬に芽出し肥、花後にお礼肥、9月上旬～中旬に元肥を与えます。いずれの場合も油粕や鶏糞などの有機質肥料を株元に埋めるか、化成肥料を表土と混ぜます。

手入れ

蕾は1茎に3～4個つきますが、5月上旬、側蕾を取って頂蕾だけ咲かせます。開花は5月下旬です。必ず支柱を立てて倒れないようにします。開花後花がらを取り、葉を健全に保つため、灌水、敷ワラ、薬剤散布を十分行います。

病害虫の防除

葉のカッパン病、ウドンコ病、花の灰色カビ病には、マンネブダイセン、ベンレート、トップジンMなどを散布します。株元に発生する白絹病や白紋羽病には、タチガレンやベンレートを灌注し、枯株は抜き取って土壌消毒をします。アザミウマやアブラムシには、オルトランやスミチオンを散布します。

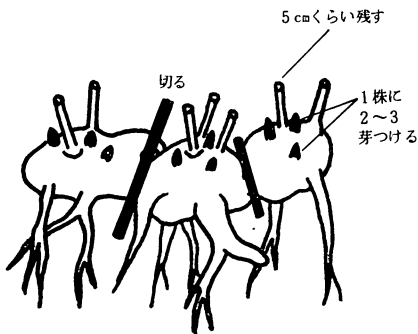


図1 株分け

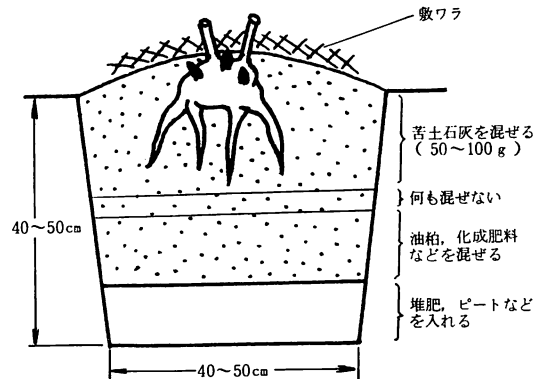


図2 植え付け方